
平成23年 第1回(定例)由布市議会会議録(第6日)

平成23年3月10日(木曜日)

議事日程(第6号)

平成23年3月10日 午前10時00分開議

- 日程第1 議案第34号 平成22年度由布市一般会計補正予算(第8号)
日程第2 議案第35号 平成22年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
日程第3 議案第36号 平成22年度由布市老人保健特別会計補正予算(第2号)
日程第4 議案第37号 平成22年度由布市介護保険特別会計補正予算(第4号)
日程第5 議案第38号 平成22年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
日程第6 議案第39号 平成22年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
日程第7 議案第40号 平成22年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
日程第8 議案第41号 平成22年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第34号 平成22年度由布市一般会計補正予算(第8号)
日程第2 議案第35号 平成22年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
日程第3 議案第36号 平成22年度由布市老人保健特別会計補正予算(第2号)
日程第4 議案第37号 平成22年度由布市介護保険特別会計補正予算(第4号)
日程第5 議案第38号 平成22年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
日程第6 議案第39号 平成22年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
日程第7 議案第40号 平成22年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
日程第8 議案第41号 平成22年度由布市水道事業会計補正予算(第3号)
-

出席議員(20名)

- | | |
|------------|------------|
| 1番 鷺野 弘一君 | 2番 廣末 英徳君 |
| 3番 甲斐 裕一君 | 4番 長谷川建策君 |
| 5番 二ノ宮健治君 | 6番 小林華弥子君 |
| 7番 高橋 義孝君 | 8番 新井 一徳君 |
| 9番 佐藤 郁夫君 | 10番 佐藤 友信君 |
| 11番 溝口 泰章君 | 12番 西郡 均君 |

13番 太田 正美君
15番 田中真理子君
19番 工藤 安雄君
21番 佐藤 人己君

14番 佐藤 正君
16番 利光 直人君
20番 生野 征平君
22番 渕野けさ子君

欠席議員（1名）

17番 久保 博義君

欠 員（1名）

事務局出席職員職氏名

局長 長谷川澄男君 書記 江藤 尚人君
書記 馬見塚量治君

説明のため出席した者の職氏名

市長	首藤 奉文君	副市長	清水 嘉彦君
教育長	清永 直孝君	総務部長	野上 安一君
総務課長	佐藤 式男君	財政課長	秋吉 孝治君
総合政策課長	相馬 尊重君	契約管理課長	渡辺 定君
会計管理者	工藤 浩二君	産業建設部長	佐藤 省一君
健康福祉事務所長	河野 隆義君	環境商工観光部長	溝口 博則君
環境商工観光部参事兼産業廃棄物対策課長			加藤 康男君
挾間振興局長	目野 直文君	庄内振興局長	服平 志朗君
湯布院振興局長	古長 雅典君	教育次長	島津 義信君
消防長	平松十四生君		

○議長（渕野けさ子君） 皆さん、おはようございます。

開会の前に皆様にお知らせいたします。本日は、開会前ですが、大分県立美術館由布市誘致期成会の会長桑野和泉さんを初め役員の方々が誘致についての要望を議会のほうにという形でお受けいたしました。引き続き傍聴もしていただいておりますので御案内しておきます。

各3常任委員長さんにも出席していただきまして、議会として、積極的に皆さんとともに一致団結して取り組もう。由布市のために、由布市のまた、文化香る由布市をつくるために力を合わ

せて全力で取り組んでいきますということをお話をいたしました。そのことを御報告させていただきます。

午前10時00分開議

○議長（**渕野けさ子君**） 皆さん、おはようございます。

議員及び市長初め執行部各位には、本日もよろしく願いたします。

ただいまの出席議員数は20人です。

久保議員から、病気加療のため欠席届が出ております。

定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

執行部より、市長、副市長、教育長、各部長、及び関係課長の出席を求めています。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程第6号により行います。

日程第1. 議案第34号

日程第2. 議案第35号

日程第3. 議案第36号

日程第4. 議案第37号

日程第5. 議案第38号

日程第6. 議案第39号

日程第7. 議案第40号

日程第8. 議案第41号

○議長（**渕野けさ子君**） それでは、日程第1、議案第34号平成22年度由布市一般会計補正予算（第8号）から、日程第8、議案第41号平成22年度由布市水道事業会計補正予算（第3号）までの8件を一括議題といたします。

付託しております各議案については、各常任委員長にそれぞれの議案審査に係る経過と結果について報告を求めます。

まず、総務常任委員長、高橋義孝君。

○総務常任委員長（**高橋 義孝君**） 皆さん、おはようございます。総務常任委員長の高橋義孝です。

ただいまから委員会についての審査の報告をさせていただきます。

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第103条の規定により報告をいたします。

日時、場所、出席者、担当課については、報告書に記載のとおりであります。

審査結果について御報告をさせていただきます。

議案第34号平成22年度由布市一般会計補正予算（第8号）について。

本補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,587万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ187億5,466万円と定めるものです。

本委員会に関係する主なものは、歳入では、1款市税で滞納繰越分の増額補正が主なものであります。歳出では、今年度の事業見込みがついたものや事業確定に伴う減額補正が主なものであり、2款1項6目企画費では、田舎で暮らし隊事業において、受け入れ地域の選定や受け入れ体制の整備等が予想以上に難航したことに伴う568万2,000円の減額補正、国民宿舎跡地利用計画策定では、検討委員会発足のおくれに伴い89万円の減額補正であるとの説明がなされました。そのほか2款1項総務管理費で、テレビ大分が開局40周年記念として、18市町村ガイドブックを発刊することに伴う負担金として、文書広報費20万円の増額補正、市有地の地元貸付に伴う交付金として、財産管理費127万2,000円の増額補正、下湯平幸せの湯の管理事業に伴うポンプの修繕費として、地域振興費90万3,000円の増額補正、13款2項基金費で積立金、財政調整基金2億7,469万5,000円の増額補正、これにより財政調整基金の22年度末残高は17億9,221万9,000円の見込みであるとの説明がなされました。

これらの説明に対して、委員からは、田舎で暮らし隊事業については、事業の目的について否定するものではないが、地域の実態やニーズ、また由布市のまちづくり理念に沿ったものとして事業を実施するよう意見がなされています。

次に、市有地の地元貸付に伴う交付金の湯布院地域分については、関係機関との協議が整うまで、予算執行を見合わせるべきとの結論に至りました。

このほか、由布院小学校改築事業に伴う継続費補正の変更、12事業についての繰越明許費補正の追加及び7事業の事業費確定に伴う地方債補正の変更等、本委員会の関係部分について、各課より詳細な説明がなされました。

これらの説明に対しては各委員より、縷々質疑や意見がなされました。委員会で出された意見については誠意ある対応を求めます。

慎重審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

以上で、総務委員会の審査報告を終わらせていただきます。何とぞ御賛同賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（**淵野けさ子**） 次に、教育民生常任委員長、佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） 改めまして、おはようございます。お疲れさまでございます。

それでは、教育民生常任委員長の佐藤郁夫です。委員会の審査報告につきまして、御説明、ま

た報告を申し上げます。

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第103条の規定により報告をいたします。

期日は、23年3月7日、9日が現地調査、8日、9日が議案審査で、湯布院庁舎2階会議室で行いました。

委員は全員の委員でございます。7名でございます。

担当課、書記につきましては、列記のとおりでございますので御一読をお願いします。

それでは、事件番号、議案第34号平成22年度由布市一般会計補正予算（第8号）につきましての審査の経過並びに結果でございますが、本委員会に係るものについて、今回の補正は各事業費見込み額の調整に係るものが主なものであります。

歳入では、13款の教育費負担金で高校生通学バス負担金が見込み減による207万2,000円の減額でございます。

歳出では、3款民生費で、高齢者福祉費で養護老人ホームの措置人数減による減額、障がい者福祉費で特別障害者手当等給付費の対象者減による減額、聴覚障がい者への情報支援の充実として、受信装置利用者に対して地デジ対応装置の緊急支援を2人分15万円を計上されております。児童福祉費では、一時保育サービス事業と開所時間延長事業の増額補正、生活保護費では、住宅・生活等緊急支援事業の対象者見込み減による181万円の減額でございます。

10款1項教育総務費では、事務局費で朴木小学校閉校に伴う引っ越し業務委託料36万8,000円が新規計上されております。中高一貫教育推進費では通学補助金の増額補正、2項小学校費では、学校管理費で西庄内小学校の隣地の土地購入費152万1,000円、建物移転に伴う補償金343万2,000円、登記委託料50万円を新規計上です。6項社会教育費では、公民館費で、ポリ塩化ビフェニル処理委託料958万円の減額、7項保健体育費では、保健体育総務費で、SPA健康マラソン中止による委託料が227万1,000円の減額です。

新規予算については、計上時期についての十分な検討と適切な事務処理を望みます。また、学校給食についても、味はもちろん大切であります。子どもの栄養バランスや食育の重要性に配慮したメニューづくりが大切であるとの意見が出されました。

以上、慎重審査の結果、全員一致で原案を可決すべきものと決定いたしました。

続きまして、議案第35号平成22年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）でございますが、その審査の経過及び理由並びに結果でございますが、本補正予算は、歳入歳出に2,814万3,000円を減額し、予算の総額を41億2,219万3,000円とするものです。

今回の補正は、療養諸費等の支出見込み額の補正が主なものです。

歳入の主なものは、国と社会保険診療報酬支払基金からの交付決定に伴う増減であります。

歳出の主なものは、電算システム改修経費の増、療養給付費の伸びを見込んだ保険給付費の増、社会保険診療報酬支払基金や国保連合会の決定通知に基づく減額や過年度分の国庫返還金であります。

慎重審査の結果、全員一致で原案を可決すべきと決定いたしました。

続きまして、議案第36号平成22年度由布市老人保健特別会計補正予算（第2号）でございます。

審査の経過及び理由並びに結果でございますが、本補正予算は、歳入歳出から100万円を減額し、予算の総額を1,005万7,000円とするものです。

今回の補正は、歳出の療養給付費等の支払い見込み額の減額に伴う歳入の支払基金交付金及び、国・県からの負担金の減額です。

慎重審査の結果、全員一致で原案を可決すべきと決定しました。

続きまして、議案第37号平成22年度由布市介護保険特別会計補正予算（第4号）でございますが、審査の経過及び理由並びに結果でございますが、本補正予算は、歳入歳出に2,973万5,000円を追加し、予算の総額を34億8,012万1,000円とするものです。今回の補正は保険給付費の支払い見込み額の補正が主なものです。

歳出の主なものは、介護認定調査会費で主治医意見書寮、この「寮」は変換間違いです。料金の「料」に変えてください。——の増額、保険給付費で介護サービス費、介護予防サービス費、高額介護サービス費の増額であります。

歳入の主なものは、歳出の増額に伴い、国庫・県支出金の増額、繰入金の増額でございます。

慎重審査の結果、全員一致で原案を可決すべきと決定しました。

続きまして、議案第38号平成22年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の審査の経過及び理由並びに結果でございますが、本補正予算は、歳入歳出から354万3,000円を減額し、予算の総額を3億7,612万4,000円とするものです。

今回の補正は、後期高齢者医療保険料の調定額の見直しによる減額、保険基盤安定繰入金の決定に伴う減額が主なものです。

歳入の主なものは、前記による保険料198万1,000円の減額。

歳出の主なものは、歳入の減額に伴う後期高齢者医療広域連合納付金339万4,000円の減額であります。

慎重審査の結果、全員一致で原案を可決すべきと決定いたしました。

どうぞ皆様方の御支援また御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（**瀧野けさ子君**） 次に、産業建設常任委員長、太田正美君。

○産業建設常任委員長（**太田 正美君**） おはようございます。産業建設常任委員長の太田正美で

す。

本委員会に付託の事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第103条の規定により報告いたします。

日時、3月8日、9日、2日間であります。

場所等、挾間庁舎4階第1委員会室です。

出席者、太田正美、田中真理子、新井一徳、工藤安雄、佐藤人巳。

欠席、久保博義。

今回は、湊野議長にオブザーバーとして出席をいただいております。

担当課、産業建設部、環境商工観光部、それぞれの各課であります。

書記は議会事務局です。

審査結果、事件番号、議案第34号、件名、平成22年度由布市一般会計補正予算（第8号）、経過及び理由、今回の補正は、歳入歳出それぞれ9,587万7,000円を追加するものです。

当委員会に関する歳入につきましては、農林水産業分担金のうち県営中山間地域総合整備事業分担金662万8,000円の減額、農業費県補助金のうち企業等農業参入推進事業補助金244万4,000円の減額、経営構造対策事業補助金904万4,000円の増額、林業費県補助金のうち農免林道整備事業補助金404万2,000円の減額、土木債の5路線の精算見込みによる400万円の減額が主なものです。

歳出につきましては、環境対策費のうち産廃対応技術支援業務委託料336万3,000円の減額、衛生費清掃総務費のうち環境衛生組合負担金989万7,000円の減額、畜産品評会が口蹄疫のため中止となったことによる畜産業費の減額、林道事業費のうち工事請負費624万4,000円の減額、商工振興費のうち中小企業者利子補給補助金219万4,000円の増額、道路新設改良費のうち工事請負費753万5,000円の減額、都市計画総務費のうち工事負担金753万1,000円の減額、住宅費は入札減及び事業費確定による減額、農業用施設災害復旧費は認定災害がなかったことによる減となっております。

慎重に審査した結果、全員一致で原案可決すべきものと決定しました。

次に、事件番号、議案第39号、件名、平成22年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）、経過及び理由、今回の補正は、歳入歳出それぞれ235万7,000円を追加するものです。

歳入の主なものは、一般会計繰出金162万円の増額です。

歳出の主なものは、職員の時間外勤務手当234万8,000円の増額です。

歳入歳出とも厳寒による渇水対応を含む職員の時間外勤務手当の増額に伴う補正です。今回は突発的に発生した渇水により、例外として一般会計からの繰り入れを行っております。

慎重に審査した結果、全員一致で原案可決すべきと決定しました。

次に、事件番号、議案第40号、件名、平成22年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）、経過及び理由、今回の補正は、歳入歳出それぞれ100万円を減額するものです。

平21年度の事業が多かったため、農業集落排水の消費税が還付されたことにより、一般会計の繰出金を減額したことに伴う減額補正となっております。

慎重に審査した結果、全員一致で原案を可決すべきものと決定しました。

次に、事件番号、議案第41号、件名、平成22年度由布市水道事業会計補正予算（第3号）、経過及び理由、今回の補正は、収益的収入572万2,000円の減額、収益的支出143万4,000円の増額、資本的支出655万円を減額するものです。

収益的収入につきましては、有収水量の減少による水道料金929万円の減額、新規加入者の増加による一般加入負担金239万4,000円の増額、一般会計補助金144万1,000円の増額が主なものであります。

収益的支出につきましては、使用水量の減に伴う動力費130万円の減額、厳寒による渇水対応を含む職員の時間外勤務手当227万3,000円の増額が主なものであります。

資本的支出につきましては、建設改良費のうち配水管布設替え工事の予算執行残の発生による請負工事費655万円の減額が主なものです。

また、予算第4条本文括弧書き中「不足する額2,148万4,000円は、」を「不足する額1億9,493万4,000円は、」に、「過年度分損益勘定留保資金1億9,148万5,000円」を「過年度分損益勘定留保資金1億8,493万4,000円」に改めるものです。

債務負担行為につきましては、4月1日からの事業実施が必要となる浄水場汚泥処理業務の委託契約事務を3月中に行う必要があることによるものです。

慎重に審査した結果、全員一致で原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。何とぞ御賛同のほどよろしくお願いいたします。

○議長（瀧野けさ子君） 以上で、各常任委員長の報告が終わりました。

これより審議に入ります。まず、日程第1、報告第34号平成22年度由布市一般会計補正予算（第8号）を議題として委員長報告に対する質疑を行います。

なお、委員長報告に対する質疑については、審査の経過と結果に対する疑義にとどめることをお願いしておきます。

質疑はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（12番 西郡 均君） 教育民生委員長にお尋ねいたします。

報告の中で、高校生の通学バスの負担金が見込み減による207万円の減額というのを言っておりますけれども、見込みの225万6,000円から比べてですね、圧倒的に少ないと。そし

て予算残が必ずしもそのとおりになるかちゅうのも、また、わからんですよね。一般質問でも同僚議員がかなりこの点についていろいろ改善策を言っていましたけども、委員会の中で、その問題点や、あるいは今後の課題、打開策などについて話し合ったのかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長（**刈野けさ子君**） 教育民生常任委員長、佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） お答えいたします。

委員会でも審査の中でお話というか、協議をいたしました。一つはですね、22年度のスクールバス利用者を当初47名見込んでおりましたが、その結果として、4名しかなかったと。そういう中で、大きな207万2,000円の減額を行うことになったということで、そういう内容を聞いてみますと、現在の運行の時間では部活生がやっぱりできないと。それから往復の1便しかないもので、非常に利用しにくいと。そういうことが中心で、今後、ほんなら、どうするんかということもいただきました。やはり大きくやっぱり皆さんのアンケートの中でも、やっぱり部活等、利用しやすい時間に変更しなければ、ただ単に運行してますから利用してくださいじゃ、おかしいと。そういうことも委員の中から出まして、新年度以降はそういうところに配慮して、皆さんが利用しやすい、せっかく、そういうスクールバスを出してるんですから、そういう利用ができなければ意味がないということで、配慮するという返答もいただいておりますし、委員会としても、ぜひ利用しやすいような時間帯で運行するようにと、そういう要求もしたところでございます。

以上です。

○議長（**刈野けさ子君**） 12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） すぐ新年度になるわけなんですけども、改善策でね、これならよかろうというふうになったのかどうか。最後に確認したいと思います。

それと、公民館費のポリ塩化ビフェニル処理委託料の減額、あるいはまたスパ健康マラソン中止についても議論したのかどうか、その辺もお伺いしたいと思います。

○議長（**刈野けさ子君**） 教育民生常任委員長、佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） 改善策はですね、やはり、微に入り細に入り、きちっと、やっぱり、1人でもね、そういう利用者がおれば、できるだけ、そういう皆さんの意に沿うような改善策をしてくださいということも、こちらからお願いをしております。

それからビニール管の処理の件でございます。確かに大きな額でございますが、聞くところによりますと、そういう法的な廃棄物でなかったという形の中で、軽易な廃棄物だったので、そういう処理はしなくてよかったから残になったということでもございましたし、スパマラソンにつきましては、御案内のように昨年宮崎で牛の口蹄疫、そういう病気が出まして、地元のほうから、

どうしてもやっぱり観光客含めていろんな問題が出るから、中止をしてほしいということで中止をした経緯がございますし、ことしにつきましては、やっぱり、行ってきたいという、そういう回答もいただいております。

以上です。

○議長（**刈野けさ子君**） ほかに質疑はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 産健の委員長にお尋ねいたします。

直接質疑の中で言ってなかったんですけども、環境衛生組合負担金の989万7,000円という額はですね、環境衛生組合に提案された金額と異なってるんですよ。若干ですけど。別にそういう議論に全くなってなければそれでいいんですけども。済みません。

○議長（**刈野けさ子君**） 産業建設委員長、太田正美君。

○産業建設常任委員長（**太田 正美君**） 産業建設委員長の太田です。お答えします。

西郡議員の質問趣意書みたいなものを事前にいただきました。それを照らし合わせながら、うちの委員会でも話を進めてまいりました。しかしながら、環境衛生組合の総会資料とか、これまで5年間の持ち込みされたごみの量とかの表が私たち委員会にいずれも報告が資料として上がっておりません。そのことを担当課の課長に申し込みまして、まだ、本議会まだありますので、本議会中にはそういう資料を提出して、この金額はどういう根拠による量の金額なのか。それぞれの分別された持ち込み料の明細を過去5年間にわたって提出するようにしております。

以上です。

○議員（**12番 西郡 均君**） はい、ありがとうございます。

○議長（**刈野けさ子君**） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**刈野けさ子君**） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 委員会できちっと言ってなかったんで、ちょっと。きのどきいけどね。

全員っていうふうになってますけども、基本的に反対ということで討論に参加したいと思いません。

実は、委員長も指摘した——指摘してないんか。補正で貸付金のね、地元、どこ辺かな。（発言する者あり）真ん中ね。ありがとうございます。

市有地の地元貸付に伴う交付金の湯布院地域分については、関係機関との協議が整うまで予算執行を見合わせるべきという部分についてです。

私自身は、例の畜産業者の、要するに、まるひでからいただいた分については認めるけども、

あと、市で一般会計から補てんしようとしている80万円については、これ絶対に認めることはできないと。なぜならですね、同じ塚原の地区で、全共で、継続的に市のほうで面倒見てくれという案件があって、それにはだめだという回答を議会でしてるわけですね。にもかかわらず、同じ塚原に隣接地のね、佐土原については、そのお金を収入がなくても払うなんてことやったら、とんでもないことだということで、絶対に認められないというのが私の立場です。事情があるから、そこ辺ぐらひは3者で協議して云々ちゅうのが最終的な委員会の結論みたいにありますけれども、私自身は、例えそうであっても、そういうことやれば引き続き払わなくてはならなくなるということで、断じてそれを認めることはできないということで、ここに限定してなんですけども、認めるわけにはいかないということで、この補正予算に反対の立場を鮮明いたします。

○議長（**渕野けさ子君**） 次に、原案賛成者、討論ありませんか。11番、溝口泰章君。

○議員（**11番 溝口 泰章君**） 賛成の立場で討論申し上げますけれども、今、同僚議員、反対討論の根拠になりました委員会の中での審査に係る議論には、もっと多面的な議論の要点がございました。

その一つは、地元に対する交付金というのは、その多寡は置いといても、80万円だからどうだというのではなくて、今までずっと交付されてきた交付金であるということ。その交付金をもとに、次年度、そして、その先、将来にわたって、地元にとりましては、さまざまな計画を用意するというで継続してきたものでございます。それが突然の中止ということで、ぱったりとやめなければいけなくなってしまったことに対する責任を問うとき、やはり、地元の責任というよりも、突如中止になった原因として考えられるのは、市もちろん、県も、そして業者も、進出予定の業者も含めて、地元とその経緯について納得のいくまで協議して手当する。これは金額だけではなくて、協議の内容も含めて手当する必要があるということで、今回の委員長報告に反映されておりますように、予算執行は見合わせるということでございます。これを中止するという意味ではなくて、予算執行に関しては、もうちょっと協議をして、地元の立場も配慮するというふうに委員会の中で議論した結果が落ち着いて、はずでございますので、今さら、最初の話の入り口を引っ張り出してきて反対だ反対だと申されても、議論の中身としては、こういうことがあったという紹介を私せざるを得ませんので。その点、委員長報告のとおり、協議の後には地元の意見を意思を、そして尊重するべきところは尊重して、責任ある立場の3者ともども協議の場を設けてもらって、円満な落としどころをぜひとも用意しなきゃいけないというふうに考えますので、委員長報告のとおり、賛成という立場での討論にいたします。

○議長（**渕野けさ子君**） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで討論を終わります。

これより議案第34号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立18名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第2、議案第35号平成22年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題として質疑を行います。質疑はありますか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 教育民生委員長にお尋ねいたします。

国保の基盤安定事業の増額、あるいは財政安定化支援事業の減額について、そもそも、これが一体どういうふうなお金でね、これ増額、減額が妥当なのかどうかちゅうことは、委員会で議論されたのかどうか、お伺いいたします。

○議長（**渕野けさ子君**） 教育民生常任委員長、佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） お答えいたします。

これはですね、やっぱり当初からの中で、流れの中で来た部分でありまして、最後にそれぞれの方で確定、交付金等の確定があったことを含めての調整をしたということでありまして、議論をいたしました。

以上です。

○議長（**渕野けさ子君**） 12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 国保基盤安定事業についてはですね、きちっとした数字が出るから、これはすぐ繰り入れが簡単なんですけども、財政安定化については合併当時は出てなくて、結局、挟間分しか入れてなくてね、ピンハネをしとったんですけど。19年から、そういう方向でやるっていうことで、8割分、いわゆる交付税に算入してる分は入れました。全く改善されたのは20年度以降なんです。ところが最近もその数字を県がおろしてないんでね。これが間違いないのかどうかちゅうのは非常に不安なんですよ。そういう確認をされたのかどうか、つけ加えてほしいのと。

それと今回、出産育児一時金で特定財源の国庫支出金の減額は一般財源で穴埋めしてます。あるいはまた、3款1項2目後期高齢者関係事務費拠出金、あるいは前期高齢者関係事務費拠出金、老人保健事務費拠出金って、いずれも事務費拠出金については一般会計から繰り入れして行いなさいとなっているにもかかわらず、ここでは全部——一般財源じゃない、一般会計からの繰り入れでね、やりなさいというのに、一般財源で、要するに、保険料で皆穴埋めしてるんですね。そこ辺について議論したのかどうか、お伺いしたいと。

○議長（**渕野けさ子君**） 佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） お答えします。

国・県からのやはり確定通知というのは、それはもう信用するというか、そうしなきゃならないという説明を受けました。また、それぞれの程度につきましては、やはり繰入金、またはそういう財源の中で手当したということでございます。

以上です。

○議長（**渕野けさ子君**） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 実は、この補正予算のやり方が当初予算にもかかわってんですね。一般会計で繰り入れすべきところを保険料を一般財源で賄うというようなやり方ですね。そこ辺について、ここ具体的に質疑の中で明らかにしとけば、委員会もかなり具体的にやってくれたと思うんですけども、非常に残念ながら、そういうことが十分でないということ指摘して反対討論といたします。

○議長（**渕野けさ子君**） 次に、原案賛成者の討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで討論を終わります。

これより議案第35号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立18名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第3、議案第36号平成22年度由布市老人保健特別会計補正予算（第2号）を議題として質疑を行います。質疑はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 後期高齢者に移行してから、もう3年ですかね。なるにもかかわらず、老人保健では、過年度分の精算を行ってるのにもかかわらず、すべて現年度分で表記してるんですよ。これは当初予算のときにも指摘いたしましたけれども、委員会で現年度分という表記が妥当だということを確認したのかどうか、お伺いいたします。

そして、国・県の支出金については、今回精算行為を来年度に延ばすということで、来年度予算にはまだ反映されてないんですけども、そこ辺についてはどういうふうに議論されたのか、お伺いしたいと思います。

○議長（**渕野けさ子君**） 教育民生常任委員長、佐藤郁夫君。

○教育民生常任委員長（**佐藤 郁夫君**） お答えします。

現年度がないのに、どうして現年度かということでしたが、当該年度に支出した医

療給付費に対しての負担される分という形でお伺いしておりますので、そのように、それをよしとしたところでございます。

また、国・県の支出金でございますけれども、県を通じて連絡を受けたと。それから老人保健は既に制度が廃止されておまして、過去の医療費等の請求に対する支出事務がやっぱり実績に対して翌年度精算をして、県等から交付されると、そういう説明を受けたところでございます。

以上です。

○議長（**渕野けさ子君**） 12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 来年度の予算についても同様のことがなってるんでね。予算書としては。また来年度のときに詳しくお伺いしますので、そのときは理解できるように御説明をお願いしたいと思います。

○議長（**渕野けさ子君**） ほかに質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） 討論なしと認めます。

これより議案第36号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第4、議案第37号平成22年度由布市介護保険特別会計補正予算（第4号）を議題として質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） 質疑なしと認めます。

討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） 討論なしと認めます。

これより議案第37号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第5、議案第38号平成22年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第

2号)を議題として質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(渚野けさ子君) 質疑なしと認めます。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(渚野けさ子君) 討論なしと認めます。

これより議案第38号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長(渚野けさ子君) 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第6、議案第39号平成22年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)を議題として質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(渚野けさ子君) 質疑なしと認めます。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(渚野けさ子君) 討論なしと認めます。

これより議案第39号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長(渚野けさ子君) 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第7、議案第40号平成22年度由布市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)を議題として質疑を行います。質疑はありませんか。12番、西郡均君。

○議員(12番 西郡 均君) 今度の補正で最後なんですけどね、農業集落排水で一番問題になってるのが不明水の件なんですけども、委員会の中では最終的にはどういうふうに議論されたのかどうか。(発言する者あり)向こうか。お願いします。いつも、お願いします。

○議長(渚野けさ子君) 産業建設常任委員長、太田正美君。

○産業建設常任委員長(太田 正美君) 不明水ですね、いつも温泉水の流入等の問題点が上がっております。特別ここがおかしいというのは、いまだにまだ解明されておられません。しかしながら、徐々にですね、流入量が減ってきてというのが現状だという報告を受けております。

以上です。

○議長(渚野けさ子君) ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） 討論なしと認めます。

これより議案第40号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

次に、日程第8、議案第41号平成22年度由布市水道事業会計補正予算（第3号）を議題として質疑を行います。質疑はありませんか。12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 委員長にお尋ねします。上水道の汚泥処理業務の債務負担行為、3月いっぱい契約しないと4月1日からできないということで、なんですけども、なぜ、この時期の債務負担行為かちゅうのは、状況はわかるんですけども、あらかじめわかっているにもかかわらず、そういうふうにと壇場でやるということについて委員会では議論したのかどうか。

それと、先ほどの簡易水道とも関係あるんですけども、簡易水道の場合は例外として一般会計からの繰り入れ云々というのを書いてます。時間外手当について、これについては基準等があるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長（**渕野けさ子君**） 産業建設委員長、太田正美君。

○産業建設常任委員長（**太田 正美君**） 委員会でも、債務負担行為については、何でこの時期にしなければ、新年度でもいいんじゃないかというような質問をしましたところ、こういう入札業務等を3月中にしなければ、4月1日からの実施に支障があるので、これはやむを得ないことで、この時期にどうしてもすることだという説明を受けました。それで納得をいたしました。

それと、何でしたか。もう1点。（「一般会計からの」と呼ぶ者あり）

時間外手当についてはですね、今回特に冬場想定外の寒さが続いたことにより、これほど大きな残業が起こるとは担当課も思っておりませんでしたし、ほとんど、もう、土日休みなしで担当課がですね、人員が足りなくて、応援を各課にお願いして、これの対処に当たったというようなことを聞いております。そのことにより、想定外の支出がふえたというふうに伺っております。

以上です。

○議長（**渕野けさ子君**） 12番、西郡均君。

○議員（**12番 西郡 均君**） 水道運営委員と重なっている人がいるかどうかわからないんですけども、全額ね、一般会計から見べきだという意見はなかったんでしょうか。

○議長（**渕野けさ子君**） 太田正美君。

○産業建設常任委員長（**太田 正美君**） それはありませんでした。どうぞ。

○議長（**渕野けさ子君**） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（**渕野けさ子君**） 討論なしと認めます。

これより議案第41号を採決します。本案に対する委員長報告は可決です。本案は委員長報告のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員19名中起立19名〕

○議長（**渕野けさ子君**） 起立多数です。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。

これで本日の日程はすべて終了いたしました。

次回の本会議は3月17日午前10時から、委員長報告、討論、採決を行います。

本日は、これにて散会いたします。大変に御苦労さまでした。

議員の皆様にお知らせいたします。引き続き11時から全員協議会を開きますので、全員協議会室にお集まりください。

お疲れ様でした。

午前10時49分散会
